

KSKS

CIL豊中通通信

「アイエルちゃん新聞」

VOL. 63

2024年 7月号

今年3月23日、北大阪急行電鉄(以下、北急)が、千里中央から箕面萱野まで延伸され、間に箕面船場阪大前駅も開業しました。当該地域の団体であるCIL豊中にとっても大きなニュースとなり、そのため今回は北急の延伸区間を、当事者スタッフが訪ねて、気付いたことや発見したことをレポートしてきました。53年振りに途中駅となった千里中央にも、変化が感じられるか訪ねてきました。ぜひ街ブラ感覚でお付き合い下さい。

★西村泉編☆

新駅「箕面萱野駅」の開通は、買い物好きの私にとって「みのおキューズモール」に行きやすくなった!と嬉しいニュースでした。オープンして6日後に早速、足を運びました!(足!いや、車イスです 笑) 「箕面萱野駅」に到着し、『わあ、キレイやん!』と、ウキウキ。ホームの天井の一部が木を使ったデザインで温かみがあ



特集:こちら「ニュー北大阪急行」バリア(?)調査隊



り、箕面の街並みが見渡せる開放感、そしてホーム自体が広く、車イスを片手で押せるんじゃないかと思うくらい床も超フラット、さ

すが新しい駅は快適だね!と思いました。特に親切だなと感じたのは、乗車位置の案内表があったことです。トイレやエレベーターの場所が、各車両の降り場からどこにあるかが分かるというのは、車イスユーザーには特に有難いと思いました。そんな新駅に喜び、いざショッピングへ!

乗車位置のご案内 (Seating & Exit Guide) table with columns for train lines and carriage numbers.

★根筒太郎編☆ 先ずは「中間新駅」から箕面萱野前駅と同時に開業した箕面船場阪大前駅に

な感じだったっけ!?移動する度に車イスがカタカタカタ・カタカタカタと揺れるから、全身が常に緊張状態に。車イスユーザーだけでなく、ベビーカーの赤ちゃんにとっても、きつと喜べないショッピングモールだな、と思ってしまふ帰り道になりました。こんな大きな施設は特に、一度完成するとなかなか改修することができないと思うので、ぜひ施設の設計・デザイン

の段階で、障害者を含む利用者、ユーザー目線での意見を求めることを切に願います。利用しやすい街になれば『また行こう!』とたくさん買い物しに行きますので(^o^)。

まずはお知らせです。ホームからエレベーターで地下2階に上がりましたが、ボタンが大きくて押しやすかったです。改札口を出ると、右側に地上2階まで直通する長いエスカレーターがあり、吹き抜け式になっていました。その名の通り、阪大が隣接しているので学生の姿が多く、文化芸能劇場も発見。駅前



編集人 NPO法人CIL豊中 豊中市 蛍池 中町2の3の1の203 E P: http://www.citoyonaka.com/ Twitter: @citoyonaka Email: zirtsu@citoyonaka.com TEL 06 (6857) 3601 FAX 06 (6857) 3602 発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町2の2 東興ビル4階 定価100円



て左折するか、ホーム階からエレベーターで1階に下りると、正面奥にバリアフリートイレが見えます。私たちが改札内で唯一のバリアフリートイレだと思ひ込み、迷わず中に入ったのですが、トイレから出てくると、前方にもう一つバリアフリートイレがあり、その隣が男性用トイレでした。今私が入っていたトイレの直ぐ隣は、女性用トイレがあって、男女用それぞれに対してバリアフリートイレがあることが判りました。トイレの中は、男女用で違いはありません。なお、授乳室も設置されていました。

今の時代の券売機

私は問題無く切符を買えたのですが、両手に障害のある人曰く、「画面がなかなか待ってくれなくて、早く押そうと焦っている内にスタート画面に戻ってしまう」。タッチパネルは、今や世の中の至る所で見られますが、多目的トイレや優先座席があるように、画面の表示時間が長めの券売機を各駅に1台導入すれば、助かる人もいるのでは？と思ったり……。難しいかな？



因みに、車いすの人の、足が入るための切り込みは、券売機・精算機ともに設置されています。

バスターミナル

新装開店したバスターミナルは、主な入口となっている箇所に、電子案内板が設置されています。これまでターミナルだった千里中央だと、かなり広い範囲に乗り場があって、それぞれの乗り場の状況は、そこまで行かないと判りませんでした。

千里中央だと、かなり広い範囲に乗り場があって、それぞれの乗り場の状況は、そこまで行かないと判りませんでした。箕面萱野駅バスターミナルでは、案内板に全ての乗り場の状況が一斉に表示されるので、状況を1ヶ所ですぐに把握出来ます。これは大変便利で助かると思いました。



★瀧本香織編☆

私は自宅も実家も箕面市内にあり、しかも実家は箕面船場阪大前駅から徒歩です。そのため、北大阪急行を利用しています。私が今回延べした区間を利用して、気付いたことを書いてみます。

①箕面萱野駅

みのおキューズモールへ買い物に行くとき、今までなら実家から電動車いすで20分走行して行っていたのですが、

今回、電車を利用してみました。電車の何両目の車両に乗ったらいかが分からなかったもので、真ん中の車両に乗ってみました。すると、箕面萱野駅で降りてすぐにエレベーターがあったので、それに乗って1階の改札口へ行きました。そして改札を出ると、目の前に工事中の白い壁があって、思わず「ここはどこだろう？」と、迷いかけました。左側(北側)を見ると、向こうにキューズモールの建物が見えましたが、少し遠かったです。後日、職場のスタッフに、箕面萱野行き先の先頭車両に乗ったら、降りたとき目の前に改札口が見えて、そこを出るとキューズモールに直接繋がっていることを、教えてもらいました。

②箕面船場阪大前駅

今まで北急に乗って出かける時、一人で電動車いすで乗り込めていたのに、この日は少し反動を付けてもなかなか上がれず、気付いてくれた運転手さんが駆け付けてくれました。前輪を持ち上げてくれました。これからは改札口でスロープをお願いしようと思いましたが、車両によって床面と駅ホームとの段差が違うのでしょうか？

③千里中央駅

この前までは終着駅だったので、ホームに止まっていた電車にゆっくり乗ればそれで良かったのですが、箕面萱野まで延伸され、きちんと進行方向を確認してから乗らなければならなくなりました。違う方向に出発してしまっ



箕面萱野駅。上写真、南改札口。画面奥がキューズモール方面。中写真、駅ホームより北改札口を望む。下写真、北改札口よりホームを望む。

たら大変なので、慣れるまでは特に気を付けて行かなければと思いました。



新規開業の駅ホームにて。左は比較的新しい車両。右は一番古い型の車両。ホームとの段差に、多少の違いが見られます。

★大岩裕司編☆ 夜の箕面萱野駅

箕面萱野駅について、夜の訪問レポートをお届けします。レポーターは、電動車いすユーザーで重度障害者の大岩です。箕面萱野駅までの延伸で、みのおキューズモールへのアクセスが一気に便利になり、ワクワクしながら訪れました。

まず、駅前に到着すると大きなバスターミナルが目に入ります。広い芝生広場では、多くの人たちが寝転んだり走り回ったりして、楽しんでいました。夜でも賑やかで安心できる雰囲気、駅周辺も明るく感じられました。

みのおキューズモールの前にはキューズモールの広がりがあります。夕飯として、フードコートで大起水産の丼を食べたのですが、これが本当に美味しかった！食後もモールの内をぶらぶらして、多くの店が入っているのので飽きることがありませんでした。

駅のホームとエレベーター箕面萱野駅のホームは高架になります。ホームにはエレ



ースは広々としていて、車いすでも余裕を持って利用できる設計になっているのはありがたいポイントです。

休憩所

ホーム上の休憩所は、出入口が自動ドアになっており、一人でも中への出入りが簡単でした。中で車いすの回転も出来、利用者にとって快適な空間です。

気になる点

方向音痴の僕にとって、駅からキューズモールの各棟への行き方がもう少し丁寧に案内されていたら嬉しいですね。北改札口を出るとSTATION棟が目の前にありますが、他の棟への行き方は判りづらい部分もありました。また、キューズモール内に動く歩道(オートスロープ)があり、上下階への移動には便利そうだなと思ったのですが、

ベーターが設置されていますが、これは南改札行きです。キューズモールに行きたい方は、ホーム前線の北改札口をご利用下さい。

バリアフリートイレ

トイレは南改札構内にあります。バリアフリートイレには、オストメイト装置や温水洗浄便座機能が完備され、ユニバーサルベッドも設置されています。多目的に利用できるようになっています。トイレの入り口が奥まっています。車いすの方が開けにくいのが少し気になったのですが、スベ

車いすやベビーカーの使用が禁止されていました。安全面での配慮は理解できますが、少し残念なところですね。

全体として、箕面萱野駅はキューズモールを目的とするなら非常に便利です。駅直結のモールでショッピングや食事を楽しむには最適な場所です。しかし、それ以外の印象はあまり持てなかったのも事実です。タクシー乗り場はまだ工事中で、福祉車両の優先駐車場は整備されていますが、もう少し充実した案内が求められます。

今回感じたのは、誰にとっても、もっと快適に過ごせる環境を整えれば、多くの人が安心して利用できるでしょう。駅周辺の賑わいと利便性は、大いに感じられました。バリアフリーの細かい点にも配慮してもらえると、もっと素敵な駅になると思います。

◆最後は少し、この地域について深掘りします。
★上田哲郎編☆
新しさと古さの良し悪しも新しいものができれば誰しもワクワクしたり興味を持ちたいですね。箕面萱野駅周辺も今でこそショッピング



グモールや映画館が建ち並び、北急もようやく延伸され、ターミナルとして栄える一方ですが、25年前は田んぼや畑も残っていたようなところですね。

利便性がよくなれば人が集まり、人が集まればその周辺に住みたくなり、宅地やマンションも整備されます。でも、それまで長年住み続けてきた人々もたくさんおり、集落やコミュニティ・文化を大切にしてきたのではな

いかと感じます。今年の初旬、箕面萱野周辺で地域のフィールドワークを行うイベントがありました。偶然にも参加させてもらい、集会所である地域のコミュニティセンターでは子どもたちの声が途絶えず、センターに集って温かさを感じました。

まず、近くの小学校で行われていた和太鼓サークルの練習を見学し、その演技・演奏力は大迫力でした。次にその地域で育った若手職員に、歴史と現状と課題

について講義を聞きました。この地域は、過去に差別を受けていた同和地区で、様々な困難を乗り越えていく過程で、人々は繋がりを築いてきました。これからも地域が活性化して、様々なイベントも行いたいとのことですね。

ただ、近年越してきた人の中には、「わざわざ今更掘り起こすような事しないでほしい」と思っている人もいますので、そういう考え方がどう協調していくかが課題だと言っていました。

最後は実際に街を歩いて、ホップを栽培しビルを製造している近くの菜園や古道を歩きました。旧家の人の説明で、元からあった地域の団地群と後から造成された宅地の間には、フェンスがあり、団地群と造成地を道で繋げる準備はしているものの、なかなか折り合いがつかず、道は一向に繋がらなくて困惑しているという事例等も、現地を視察しながら聞きました。

新しい物は綺麗で煌びやかで使いやすいかも知れません。でも、なぜ綺麗になったの



団地から住宅地に向けての道が未完の部分(左)と、境目のフェンスを眺める(右)。



新しい物は綺麗で煌びやかで使いやすいかも知れません。でも、なぜ綺麗になったの

か?なぜ使い易くなったのか?一つひとつの新しさの背景には、何千万もの絶え間ない苦労や努力があるし、費やした時間も計り知れない筈です。「わざわざ今更掘り起こすような事はしないで欲しい」という考えも、立ち止まって振り返って広い視野で見つめ直せば、もっと街は穏やかになって、発展もし続ける事でしょう。

ているのか見えてくるというのは、大変重要な機会だと捉えています。交流会を一つの生き甲斐にしている固定メンバーがいるということですが、

【お祭りにも関わっています】

京都では1978年から毎年、「京都福祉まつり」が行われていきます。これは障害当事者が企画し、周りの人がサポートして作り上げるお祭りです。JCIIL職員が実行委員長を務めています。昨年度は「とりあえず会いましょう」をテーマに、歌や踊りやクイズで盛り上がり、人権や福祉について考えるコーナーもありました。色んな人と交流出来るのが目的で、今年度は25年3月9日に開催予定です。

【ピアカンとピアサポート】

今回の取材で大変印象に残ったのが、「ピアカウンセラー」という言葉の響きは、どこかカたく、専門的な響きに感じる。ピアサポートの方が、より対等な感じがしてしっくりくる」という言葉です。

JCIILにも当事者が相談に来ることがあります。「スキル」を意識することではなく、寧ろ現場経験を通じて、自然と手法が身に付いたという感触です。ピアスタッフ同士でも、おやつを食べながら雑談



You Tubeでも数多く配信しており、様々な動画を視聴することが出来ます。こうした映像面での積極的な活動と、地域との継続的な交流は、CIL豊中にはなかなか出来ないことで、見習っていきたいです。皆さん、有難うございました。(担当:根筋)

から入ったら、その延長で相談になっていくのだそうです。言葉の違いだけではありませんが、「カウンセラー」よりは「サポート」のほうが、よりフラットで双方向に支え合う関係という響きが伝わってくる、取材者も感じました。

【若手も入ってきています】

今年から、27歳の若いスタッフが入ってきました。若い人はやはり「運動」と聞くと、抵抗を示す傾向があるようです。ただ、現在の職員も、最初は「運動は自分とは関係ない」と捉えていたのが、活動する中で、もっと色んな、自分出来る運動もあるということに気付いてきました。運動のイメージが参加を難しくさせている面も否定は出来ず、運動と接点を持つ切掛けがあれば、イメージは変わってくるのかも知れません。

☆☆☆☆

JCIILは日頃の活動を、You Tubeでも数多く配信しており、様々な動画を視聴することが出来ます。こうした映像面での積極的な活動と、地域との継続的な交流は、CIL豊中にはなかなか出来ないことで、見習っていきたいです。皆さん、有難うございました。(担当:根筋)

豊中地域情報 ばびゅ〜ん!!

「たこ湯」が集う場所

皆さんは銭湯が好きですか？私はお風呂が大好きですが、車いすユーザーなので段差などを気にしてしまい、なかなか行けません。でも最近、「障害者でも分け隔てなく利用できる銭湯」があると聞き、取材をしてきました。

訪れたのは、豊中市曽根東町にある「たこ湯」です。単なる入浴施設以上の役割を果たし、地域の人たちが交流するためのコミュニティスペースとして機能している銭湯です。

地元の人々にとっては、なくてはならない存在で、明るく元気な女性オーナー、濱岡さんに話を伺いました。

みんなで楽しむ飲食スペース 「たこ湯」の大きな魅力の一つは、広々とした飲食スペースです。たこ焼きをはじめ、ラーメンやポテトなどの美味しいメニューが並び、駄菓子も揃っています。子供も大人も楽しめるスペースで、お風呂の後に食事を楽しめます。

そうして自然と地域のコミュニティが築かれているのです。濱岡さんは、「ここでは誰もが家族のように接すること

ができる」と語ります。たこ湯では、どんな障害がある人も温かく迎えられる。例えば、固いものを噛み切れないお客様さんには、料理を細かく切って提供してくれます。私、大岩も固いものが噛めないの

で、こうした配慮は本当にありがたいと思います。

誰もが安心して利用できる場所 「たこ湯」の最大の魅力は、どんな人でも安心して利用できることです。法律で合理的配慮が義務化されても、現実には障害を理由に利用を断られる銭湯も多いですが、「たこ湯」では浴槽へ行くまでに少し段差があるものの、ソフト面でのバリアフリーが行き届いており、ずり這いの方でも普通に利用できます。重度の障害を持つ子供が訪れた際も、家族と一緒に入浴しやすいよう、工夫してくれました。

「たこ湯」の温かい雰囲気は、こうして創り出されているのだと思います。

心のもった気配り 毎日顔を合わせることで、お客様の小さな変化にも気がきます。日頃の付き合いから、少々のこと

は許し合える雰囲気。自然と生まれています。濱岡さんは細かい気配りを欠かすことなく、特に一人暮らしの高齢者への対応は丁寧でした。あ

るおじいちゃん、毎日たこ湯でビールを飲み、たこ焼きを食べるのが日課です。三日以上来なかったときは、その方の身内に連絡を取ります。

誰かが見守るといって姿勢が、独居の高齢者の孤立化を防ぐ大きな力となっています。

長い歴史を持つ銭湯 「たこ湯」は、濱岡さんが生まれる前から存在していました。阪神大震災の影響で一度倒壊しましたが、その後再建されました。その際、地元

のニーズに応えるため、たこ焼きの屋台を併設するなどの工夫をしました。この発想は斬新で、地域の子供たちや家族連れから大変好評でした。



「たこ湯」には、サウナ、水風呂、ジャグジーなどの施設があります。特に水風呂は12度と非常に冷たく、これが自慢です。2階には露天風呂があり、そこからは飛行機がすぐ上を通るのを楽しめる絶景を楽しめます。

イベントと料理、託児所にも たこ湯では、ワイン風呂やしょうぶ湯など、季節のイベントが行われます。冬はおでんが大人気で、こだわりの素材をふんだんに使っています。さらに、居酒屋や託児所としても機能しており、土日には子供たちが宿題をしたり、自由に遊ぶスペースとして利用されています。濱岡さんは、子供たちに宿題をするよう促すこともあるそうですが、子供たちはそんな濱岡さんを「おばちゃん」と親しみを込めて呼んでいます。

これから 「たこ湯」が地域に根ざしたサービスを提供し続けることで、豊中市のコミュニティ力がさらに強化されていくことでしょう。

「たこ湯」の姿勢や取り組みは、「どんなに重い障害を持つ人も、自立生活ができる社会」におけるモデルケースにもなると思いました。(大岩)

所在地：豊中市曽根東町 6-7-15 電話：06-6862-0655 営業時間：15時〜24時 ※アルコール類、たこせんも 24時まで販売 休日：木曜・第3水曜

